

かく たんさい  
**格 淡齋** (生没年不詳、江戸時代)

俳人。松山藩士。松山城下(現、松山市)出身。京・大坂の俳風を伊予に伝えた。蕉門の広瀬惟然らと交流があり、松尾芭蕉追慕の意味を持つ『其木からし』を刊行した。晩年は姫路に住み、『鹿子の渡』、『桜雲集』を残している。

## 略 歴

生年不詳

元禄12(1699)年～14年

京の惟然の居を訪ねる。

元禄14(1701)年

『其木からし』を編集し、刊行。淡齋を名乗る。

享保7(1722)年

『鹿子の渡』を編集し、刊行。姫路での作。一如軒旦海を名乗る。

享保15(1730)年

『桜雲集』を編集し、刊行。姫路での作。一如軒遊機を名乗る。

没年不詳

〈関連図書〉

- ・星加宗一『愛媛文化双書23 伊予の俳諧』 愛媛文化双書刊行会 1975年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 文学』 愛媛県 1984年